

今日 9月26日(月)は



国際核兵器廃絶デー

数億の世論 ヒバクシャ国際署名にご協力を

国連核兵器禁止条約作業部会で、核兵器禁止条約締結に向けた首脳間の話し合いを2017年に行うという提案を含む国連総会に向けた勧告を圧倒的多数の国の支持で採択しました。

いよいよ核兵器廃絶に向けた実質的な話し合いがはじまろうとしています。にもかかわらず核保有国はその流れに抵抗しています。また、日本政府は、アメリカの「核の傘」に依存ができなくなるということで、作業部会でも多数の核廃絶の世論に抵抗し、先日アメリカが検討していた「先制核不使用方法」にも異を唱えるなど、核兵器をなくそうという世界の世論に背をむけています。核保有国や核の傘に依存している国々の態度を変えさせるためにも市民の力が必要です。

今年、世界の被爆者が、世界で数億筆集めようと提起した「ヒバクシャ国際署名」。私たちは一人ひとりの声が集まり、数億の世論となって核兵器廃絶の世論を高めたいと考えています。ぜひ署名にご協力ください！



今年開催された原水爆禁止世界大会でも、広がりつつある核兵器廃絶の流れや、ヒバクシャ国際署名の広がりが語られました(2016年8月、広島市内)



大阪原水協はじめ、大阪府下のさまざまな団体が、ヒバクシャ国際署名に取り組んでいます。

今、この署名は日本全国、そして世界各国で取り組まれています。毎年国連に提出する予定です。

原水爆禁止大阪府協議会

大阪市中央区谷町 7-3-4 新谷町第三ビル 210 号
Tel.06-6765-2552 FAX 06-6765-2837
E-mail:osk-gensuikyoku@piano.ocn.ne.jp
URL : http://www.osk-gensuikyoku.jp/

国際核兵器廃絶デー”とは?

非同盟諸国(いかなる軍事同盟にも参加しない国々)が2012年国連総会で提起して、2014年9月26日、国連が初めて「核兵器全面廃絶のための国際デー」を定めました。今年は第3回目の国際デーです。

この決議では、加盟国やあらゆる市民社会が「核兵器が人類に及ぼす脅威と、核兵器全面廃絶の必要性に関する認識を高め普及させる」としています。

国連軍縮週間のつどい

10月29日(土) 13:30~16:30

大阪社会福祉指導センター

4階 研修室3

(大阪市中央区中寺 1-1-54 大阪社会福祉指導センター内)

第1部 ☆トークセッション

「ヒバクシャの体験をどう引き継ぐか」
被爆者・教員・被爆者2世・高校生
などが出演予定

第2部 ☆講演

どーなる?! どーする?!

「核兵器なき世界」への道

富田 宏治 氏

(関西学院大教授・原水爆禁止世界大会
国際会議宣言起草委員長)

☆どなたでも参加できます!